事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 10 月 26 日（16：30～17：00）
1．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	山下、吉田、小原、山本、背戸、川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	6 人	11 人	0 人	3 人	20 人

前回の改善計画

・利用前と利用開始後すぐの両方のミーティングを実施し、ケアマネや介護担当が情報伝達し、援助内容の議論を深める。
・利用開始後の初日と一週間後に様子や今後の援助の方向性を介護担当が統括して記録化を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

・事前に情報収集がしっかりできている。しかし、職員によって情報収集にムラがあり課題。
・援助内容ついて、事前に深めていく議論はできていない。その仕組みも確立していない。
・初日の様子など記録や口頭の引継ぎで情報共有ができている。
・利用開始後の初日と一週間後の評価記録は概ねできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	5	10	2	3	20
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	17	0	2	20
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	4	13	1	2	20
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	14	0	3	20

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・体調変化や希望などあれば、情報共有し相談しながら対応できている。
・新規利用者に意識的な声かけができている。気持ちよく過ごせるようアプローチはできている。
・上記①～④の項目は概ねできている。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・事前の過ごし方等の議論ができていない。初回利用時の援助内容や過ごし方について具体案がない。当日の職員任せになっている。
・情報伝達はできているが、情報の受け取り側が記録の読み込みできていないなど情報収集にムラがある。
・初日の評価はできているが、次回どのように援助してほしいかまでは決めることができていない。

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

・初回利用前に、ケアマネと介護担当が情報をもとに過ごし方を検討し、介護担当中心に記録に残す。
・新規利用者の情報を伝達した資料は確実に全員が情報収集できるように回覧チェック表をつける。また、常勤中心に情報収集ができているか声かけをしていく。
・利用初日と一週間後の援助の方向性を介護担当で統括して記録化を継続。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 10 月 31 日（16：00～16：25）
2．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	山下、吉田、小原、山本、背戸、川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	8 人	6 人	5 人	20 人

前回の改善計画

・コミュニケーションスキルの研修や学習会を実施。それを伝達研修して、様々な視点からの本人の思いを知るスキルを得る。
・日々のミーティングの内容をただの引継ぎではなく、個別の希望や目標に沿って議論にできるよう委員会でミーティング内容を決める。

前回の改善計画に対する取組み結果

・研修や学習会の参加は増えているが、コミュニケーションスキルに特化したものは全体として実施できていない。伝達研修などチームに広げることもできていない。
・ミーティング内容を委員会で決めることはできていない。ミーティングの内容は前年度よりも個別を深めることができているが、中身はもう少し検討が必要

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	2	9	4	5	20
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	3	6	7	4	20
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	3	5	8	4	20
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	3	10	2	5	20

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ミーティングで利用者個別援助についての議論しケアに活かすことができてきている。引継ぎだけでなく、利用者の個別検討の時間をつくろうと意識する職員が増えた。
・利用者や家族との会話をおこない、昔の様子などを聞き取り記録等共有することが増えている。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・その人の希望やニーズが曖昧。介護計画を意識した援助はできていない。
・ミーティングが引継ぎだけになっていることもあり、希望や自己実現の観点からケースを深めることはできていない。ゆくゆくはミーティングで本人の目標や希望を深める機会を増やしていきたい。

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

・出勤した日は、利用者全員に声をかけ、関わる時間をつくる。
・ミーティングの在り方を見直す。ミーティングの役割を「利用者個別を深める時間」と明確化する。「引継ぎ」と「ミーティング」を分ける。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 10 月 31 日（16：25～16：45）
3．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	山下、吉田、小原、山本、背戸、川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	5 人	10 人	3 人	2 人	20 人

前回の改善計画

・職員の援助の統一を実施する。本人の思いも含めた援助内容を会議等で検討し対応を決定していく。
・利用開始期のアセスメントとして以前の暮らしや本人が大切にしていたことなどを聞き取る。
・日々家族や本人にどのような生活を送りたいと思っているのかを引き出していく。その情報を皆で共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果

援助の統一はできている面とできていない面がある。統一事項の伝達共有はもう少しできることがある。
利用開始期のアセスメントは職員が積極的に声をかけ記録等での共有が増えている。
日々の家族や本人に生活への思いを聞き取ることはなんとかできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	1	2	10	7	20
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	7	10	1	2	20
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	4	8	6	2	20
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	6	11	0	3	20
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	6	10	1	3	20

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ミーティングで本人の声にならない声や気持ちや体調変化をチームで出し合い共有はできている。また、共有したことをケアに活かすことができている。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

以前の暮らし方 10 個以上は把握できていないが、1 個の情報の中身を広げる努力をおこなっている。

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

・援助の統一内容について、記録や伝達ノートに落とし込む。
・間接業務にあたることの多い職員もフロアで利用者との関りを優先できる体制づくりをおこなう。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 11 月 14 日（16：00～16：20）
4．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	山下、吉田、小原、山本、背戸、川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2 人	3 人	11 人	4 人	20 人

前回の改善計画

・新規のアセスメントシートに社会資源を追加し面接時や相談援助中に聞き取れた内容を記載し、相談時にも聞き取り行えるようにする。また、個々の社会資源を介護計画に記入し、再周知を継続的に行っていく。
・地域資源の学習会の継続。利用者ごとにどのような地域資源を活用できるか考え、会議等の場面で共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果

社会資源の介護計画書への記入はできていない。
地域資源の学習会は継続できている。しかし、全体として意識は薄い。地域資源について考える機会も持てておらず、地域に目を向けるよりも事業所内での支援に目が向いている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	10	6	4	20
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	3	9	4	4	20
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	7	8	4	20
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	5	9	5	20

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用者個々の事例で社会資源の活用を記録で残すなど一部共有ができている面もある。
・地域資源の学習会は一年に一度継続してできている。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域資源の意識づけはできていない。利用者個々のこれまでの暮らしや取り巻く社会資源への視点が薄い。

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

・利用者の以前の暮らしや地域資源についての理解を深めるため、地域資源アンケートを作成、実施する。
・なぜ地域資源の活用が重要か、その根拠を知る学習会を実施する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 11 月 14 日（16：20～16：40）
5．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	山下、吉田、小原、山本、背戸、川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3 人	8 人	5 人	4 人	20 人

前回の改善計画

・ニーズと支援の提供体制の擦り合わせを CM と介護担当とでの意見交換を強化する。ともに考えチームとしてケア内容を検討する体制をさらに強めていく。
・サービスを先に決めるのではなく、地域資源でカバーできないかという視点をまず持つように意識する。家族に地域との繋がりがあったか情報収集していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

前回の改善策 2 点どちらもあまりできていない。ニーズと支援のすり合わせをケアマネ、介護職おこなうことはあまりできていない。地域との繋がりについての情報収集も不十分。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	11	4	4	20
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6	11		3	20
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	5	11	0	4	20
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	6	12	0	2	20

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

日々の変化に気づき、ミーティング等での共有。その日の本人の状態に合わせた柔軟な支援はまずまずできている。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

ニーズの深掘り、支援を幅広い視野で検討し、サービス提供することはできていない。

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

・プラン更新時や新規利用時に介護担当がケアマネと一緒にニーズに応じた援助内容について考える。
・ミーティング利用者の個別を深める時間を増やす。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和４年 11 月 18 日（16：30～17：00　　）
６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	山下、吉田、小原、山本、背戸、川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2 人	4 人	5 人	9 人	20 人

前回の改善計画
・感染症が落ち着いた時期には社会活動再開の兆しが見られる。以前からの顔を合わせる関係づくりとオンラインでの関わりの模索など、多角的な連携・協働の場に参加する。また、地域ケア会議や事業所連絡会等の会議の情報を報告・周知する。 ・地域における金閣の役割を議論する機会を設ける。地域との繋がりを文章化し周知していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
地域会議参加は増え、情報の回覧もできてきている。しかし、得た知見や地域課題などを事業所全体の意識として落とし込めていない。地域への主体的な取り組みの視点は弱い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	6	2	10	20
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	4	1	13	20
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	2	2	15	20
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	0	3	16	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②は一部職員ができている。地域ケア会議などへの参加は増えた。またそれを他職員にも広げる動きが少しずつでてきた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①②はできていないと感じる職員が多く、事業所全体の視点に落とし込めていない。 ③④については主体的で具体的な行動がつくれていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・地域の年間行事一覧表などを確認し計画的に地域行事に参加する。 ・地域機関との連携や地域の各種団体と一緒に活動することがなぜ重要か、その理解を深める学習会を実施する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　4 年　11 月 25 日（15：30～16：00）
7．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	山下、吉田、小原、山本、背戸、川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0 人	6 人	7 人	7 人	20 人

前回の改善計画
・地域と拠点としてどうかかわることが出来るか、会議で議論を開始する。またチームとして地域での役割や何ができるかについて意見交換する機会を増やす。 ・感染症が落ち着き、地域の行事が再開すれば、地域の行事にまず足を運ぶ。それを単発で終わらせずに、継続する。地域行事に参加する職員を増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果
地域との関りはできることを模索してきたが、会議で地域でできることについての意見交換はできていない。 地域行事への関りは探っているが。積極的な行事の把握、参加はできていない。 地域から行事のアナウンスがあれば関わる努力はできていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	4	8	5	3	20
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	5	8	4	3	20
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4	5	4	7	20
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	5	5	10	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事業所のあり方について、意見できている職員が多い。 利用者、家族からの意見や苦情は共有し対応できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
②について苦情にまではなっていない出来事への再発防止の徹底はできていない。 地域行事の把握やアプローチは不十分であった。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
運営推進会議の内容を会議やミーティングでも報告し、職員からも感想や意見を求める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年 11 月 26 日　（16：15～　16：45）
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	山下、吉田、小原、山本、背戸、川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2 人	6 人	8 人	4 人	20 人

前回の改善計画
・地域ケア会議や圏域事業所連絡会、その他研修を全職員へ周知するまでをゴールとして参加する。資料の回覧やミーティングでの報告を欠かさず行い、事業所を代表して参加している意識を持つ。参加していない職員も我が事として報告を共有していく。 ・できるだけ多くの職員が研修に参加できるよう計画をたて実施していく。また、法人内の学習会も活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
地域ケア会議や圏域事業所連絡会への参加は増えているが、全体への報告や周知が不十分であった。 研修は内外含めて参加が増えた。多くの職員に参加してもらえるよう実施してきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	6	5	4	5	20
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	3	4	8	20
③	地域連絡会に参加していますか	3	2	2	13	20
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	3	7	3	7	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
研修へ参加する職員が増えた。 地域連絡会に参加できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
研修への参加はできているが、それを現場へ浸透させるところまでは手が及んでいない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
毎月の会議での学習会や伝達研修は継続。さらに、事業所の課題や現場にどう具体化するかまでを議論する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 4 年　11 月 26 日　（16：15～16：45）
9．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	山下、吉田、小原、山本、背戸、川本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	7 人	8 人	2 人	3 人	20 人

前回の改善計画

・業務の担当や出勤日数に関わらない、共通意識を持てるチーム作りを行う。常勤でのチームを作り、情報や意識共有をより多くの職員で行える取り組みを検討実施していく。
・人権意識とプライバシー保護の向上の学習会を継続。
・個人情報が掲載されているファイルや資料の管理方法を見直す。

前回の改善計画に対する取組み結果

共通意識を持てるチーム作りについては、具体的な取り組みまで実行できていない。
権利擁護の学習会は継続できている。
個人情報ファイルの管理方法については職員の発信などで改善を図っていたが、全体の意識化は不十分。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	14	6	0	0	20
②	虐待は行われていない	16	4	0	0	20
③	プライバシーが守られている	5	14	1	0	20
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	7	2	1	20
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	11	2	1	20

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

身体拘束や虐待はしていない。職員の意識も高い。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

フロア内で利用者の情報を大きな声で話していることがある。

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

・「虐待の芽チェックシート」=自身の言動を振り返るシートを年に２回実施する。
・権利擁護の学習会を継続し、事業所内の現状課題を振り返り意見交換までおこなう。